

(別紙4(2))

事業所名 グループホーム ちくし永岡の里

## 目標達成計画書

作成日: 平成 23 年 09 月 21 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

| 【目標達成計画】 |      |                     |                                                                              |                                                                                    |            |
|----------|------|---------------------|------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| 優先順位     | 自己番号 | 現状における問題点、課題        | 目標                                                                           | 目標達成に向けた具体的な取り組み内容                                                                 | 目標達成に要する期間 |
| 1        | 35   | 重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 | 利用者の心身機能低下に伴い、重度化に向けて、利用者や家族と、方針の再確認をし、医師や職員達と、方針を共有し、利用者や家族が安心出来る体制を確立していく。 | 利用者の重度化や終末期に向けた指針を作成し、ホームで出来ること、出来ないことを明示し、利用者や家族に説明し、いつまでも落ち着いて暮らせる場所の確保に取り組んでいく。 | 12ヶ月       |
| 2        | 37   | 災害対策                | おなじ建物内の、併設事業所職員と、緊急時や非常災害時の連携の強化マニュアルを作成し、地域の方に協力をお願いし、安全対策を強化していく。          | 非常災害を想定し、家族や、地域住民の協力を得て、避難訓練に参加してもらい、非常食、飲料水、毛布等の備蓄を準備していく。                        | 12ヶ月       |
| 3        |      |                     |                                                                              |                                                                                    | ヶ月         |
| 4        |      |                     |                                                                              |                                                                                    | ヶ月         |
| 5        |      |                     |                                                                              |                                                                                    | ヶ月         |

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。